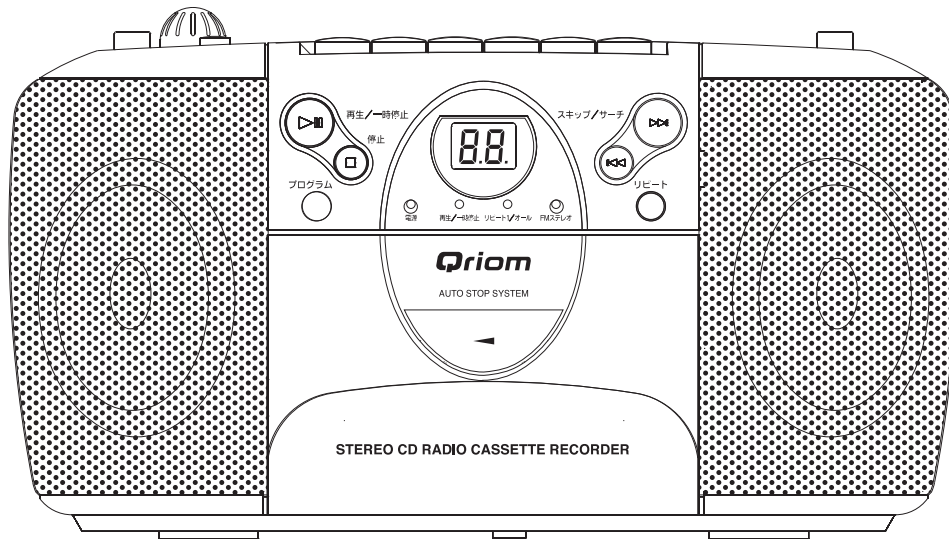


キュリオム
Qriom

ご使用になる前に
この取扱説明書(保証書付)
を最後までお読みのうえ
正しくお使いください。

CDラジオカセットレコーダー YCD-C991 取扱説明書(保証書付)



商品に関するお問い合わせ

キュリオムサポートセンター

 **0570-00-9106**

受付時間:

月～金 午前10時～午後5時30分
(土・日・祝祭日・年末年始を除く)

※ナビダイヤルは一部の電話では
ご利用になれない場合がございます。

メールでのお問い合わせ:

E-mail : support@qriom.com

ホームページ : http://www.qriom.com

この度は、CDラジオカセットレコーダー
(YCD-C991)をお買い上げいただき、誠にありが
とうございました。ご使用前にこの取扱説明書をよ
くお読みいただき、機能を十分にいかして正しくご愛用
下さい。お読みになった後は大切に保管し、わからな
いことや不具合が生じたときにお役立て下さい。

- 目次 -

安全上のご注意	2
各部の名称	6
事前の準備	7
イヤホンの使用	7
電源について	8
音量音質を調節する	9
ラジオを聴く	9
CDを聴く	10
カセットテープを聴く	14
カセットテープに録音する	16
故障かなと思ったら	19
アフターサービスについて	20
お手入れの仕方	20
ご注意	21
主な仕様	22
保証書	

※ご使用の前に、「安全上のご注意」と「取扱説明書」の内容をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
 ※ここに示した項目は、製品を安全に正しくお使い頂き、お使いになる人や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。また、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

	警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵の表示の例

- ①記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
 - 記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。
- ※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

警告	
<p>水ぬれ禁止</p> <p>本体内部に水や異物を入れない</p> <p>● 火災や感電、故障の原因になります。</p>	<p>禁止</p> <p>自動車やオートバイの運転中は使用しない</p> <p>● 運転中の機器の操作は交通事故の原因になります。</p>
<p>禁止</p> <p>煙がでたり、異常な音や臭いがするなど、異常な状態のまま使用しない</p> <p>● 火災や感電の危険があります。</p>	<p>指示に従う</p> <p>屋外での使用中に雷が鳴ったら、使用を止めて機器から離れて下さい。</p> <p>● 落雷の原因になります。</p>
<p>浴室使用禁止</p> <p>浴室、シャワー室など湿気のある場所では使用しない</p> <p>● 火災や感電の原因になります。</p>	<p>指示に従う</p> <p>AC100V以外の電圧では使用しない</p> <p>● 機器の故障や、火災や感電の原因になります。</p>
<p>禁止</p> <p>乾電池は充電しない</p> <p>● 乾電池の破裂、液もれにより、火災やけがの原因となります。</p>	<p>禁止</p> <p>落下させた機器やカバーやケースの壊れた状態で使用しない</p> <p>● 火災や感電の原因になります。</p>

警告



分解禁止

修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造は行わない

● 発火したり、異常動作してけがの原因になります。

注意



禁止

湿気やほこりのある場所で使用しない

● 火災や感電、故障の原因になります。



禁止

自動車内など高温になる場所に放置しない

● 機器の変形や故障の原因となります。



禁止

大音量で長時間続けて聞きすぎない

● 聴力に悪い影響を及ぼすおそれがあります。



禁止

はじめからボリュームを上げすぎない

● 突然大きな音がでて耳を痛める原因となります。



禁止

再生中に本体の移動はしない

● ディスクが高速回転していますので、中のディスクを傷つけたり破損する恐れがあります。



指示に従う

電源プラグを抜くときは電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜く

● 感電やショートして発火することがあります。



指示に従う

使用済み乾電池は、決められた場所に捨ててください。

● お住まいの地域で定められた分別方法に従ってお捨ててください。



指示に従う

乾電池は指定された物を正しく使用する

● 新旧や種類の異なるもの同士を混ぜて使用すると、破裂・液もれによるけがや故障の原因となります。

電池について安全上のご注意

危険



禁止

火の中へ入れない。ショートさせたり、分解、加熱しない。コインやヘアピンなどの金属類と一緒に携帯、保管するとショートすることがあります。



禁止

指定以外の電池は使用しない。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。



禁止

長期間使用しない時は、電池を取り出しておく。長期間、電池を入れたままにしない。

警告



禁止

液もれが発生した場合は、電池ケースについての液をよく拭き取り、新しい電池を入れてください。万一、漏れた液が体に付着した場合は、水でよく洗い流してください。電池は誤った使い方をすると、感電、破裂、発火の危険があります。

また、乾電池は液もれにより機器を侵食させたり、手や衣類を汚す原因にもなります。



禁止

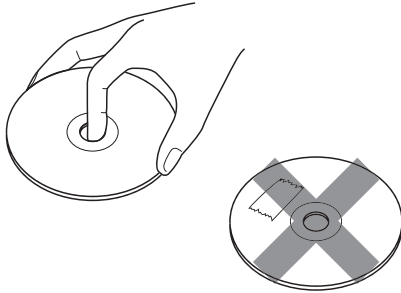
電池の極性表示(⊕プラスと⊖マイナス)に注意し、表示通りに入れる。

本機使用上のご注意

- 万一、本機内に異物や水などの液体が入った時は電源を切り、キュリオムサポートセンターにご相談ください。
- 本機を使用しない時は、すべての電源をはずして保管してください。

お使いになる前に

●ディスクの使用上のご注意



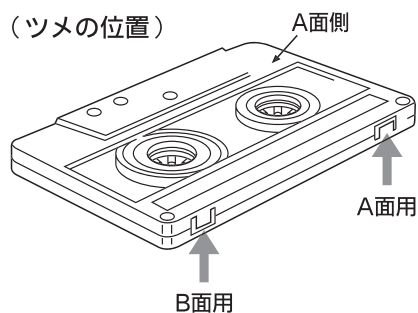
■ディスクの取扱い方

ディスクを汚さないように、再生面には触れないように持ってください。ディスクに紙やテープを貼らないでください。ディスクを車のダッシュボードの上や、そのほか高温になる場所に放置しないでください。再生後、ディスクはディスクケースに保管してください。

■ディスクの掃除

ディスクが汚れていると、音飛びがしたり、再生しない場合があります。汚れている場合は、再生前にきれいな布でディスクの中心から放射状に拭いてください。アルコールを布につけて拭くと汚れがよく落ちます。

●カセットテープの使用上のご注意



■誤消去防止について

カセットには誤消去防止用のツメが付いています。大切な録音をしたテープは、ツメを折っておきましょう。再び録音をする場合は折ったツメの部分をセロハンテープでふさぐと録音可能になります。

■テープを保管するときは

テープを車のダッシュボードの上や、そのほか高温になる場所に放置しないでください。

■テープのたるみは

テープにたるみがあるときは、テープのリールを回してたるみを取ってください。またリールがスムーズに回らないテープは、ご使用にならないでください。テープを破損する場合があります。

■長時間テープについて

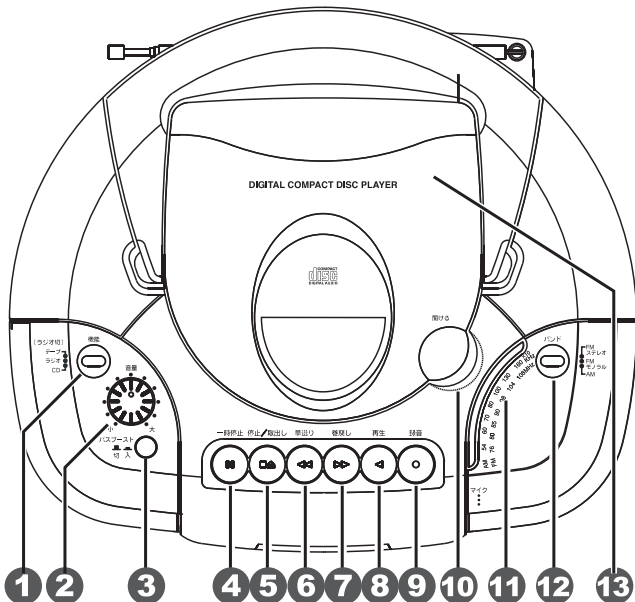
90分（C-90）以上の長時間テープは、テープが薄いため、小刻みな走行、停止、早送り、巻戻しを繰り返さないでください。回転部に巻き込まれることがあります。

●結露について

寒い場所から暖かい場所へ急に移動し、急激な温度変化を与えたり、本機を湿気の多い場所に置いたりすると、湿気がピックアップレンズに結露し、再生不良を引き起こすことがあります。この場合、ディスクを外し本機を1時間以上放置し、湿気を蒸発させます。

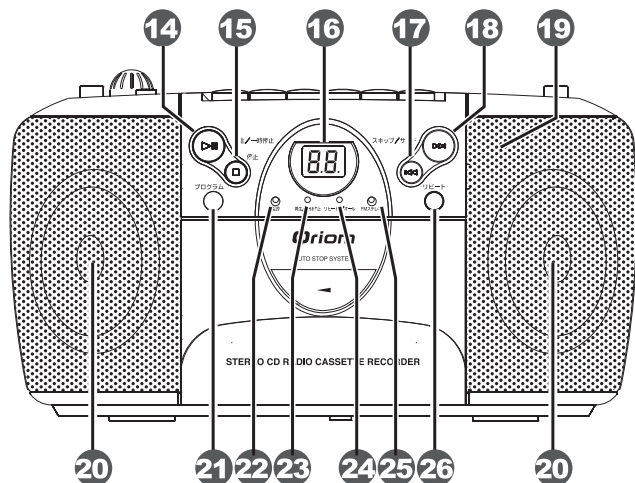
各部の名称

本体上面



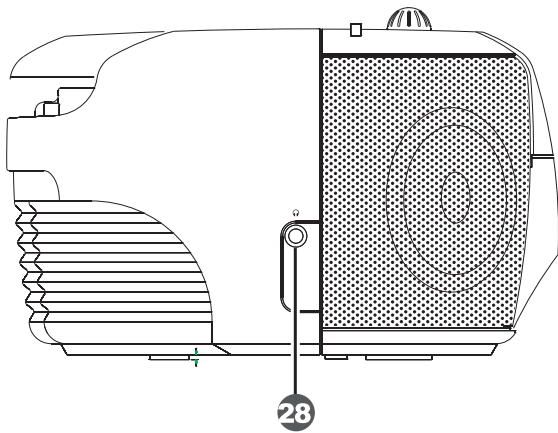
- ① 機能切替スイッチ
〈テープ（ラジオ切）・ラジオ・CD〉
- ② 音量つまみ
- ③ バスブーストボタン
- ④ テープ一時停止ボタン
- ⑤ テープ停止／取出しボタン
- ⑥ テープ早送りボタン
- ⑦ テープ巻戻しボタン
- ⑧ テープ再生ボタン
- ⑨ テープ録音ボタン
- ⑩ CDドア「開ける」タブ
- ⑪ ラジオ選局目盛
- ⑫ バンド切替スイッチ
〈FMステレオ・FMモノラル・AM〉
- ⑬ CDドア

本体正面

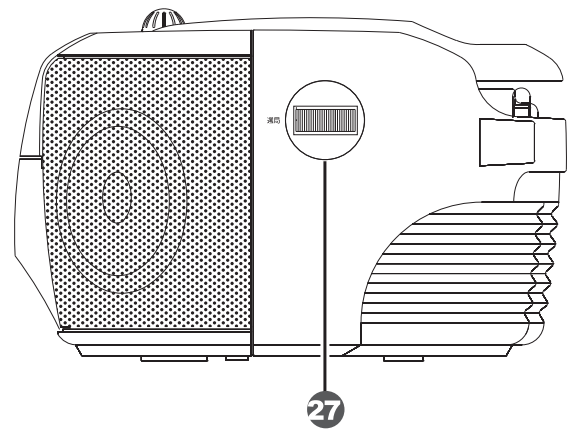


- ⑭ CD再生／一時停止ボタン
- ⑮ CD停止ボタン
- ⑯ LEDディスプレイ
- ⑰ CDスキップ／サーチ ◀◀ ボタン
- ⑱ CDスキップ／サーチ ▶▶ ボタン
- ⑲ 内蔵マイク
- ⑳ スピーカー
- ㉑ CDプログラムボタン
- ㉒ 電源ランプ
- ㉓ CD再生／一時停止ランプ
- ㉔ CDリピート1/オールランプ
- ㉕ FMステレオランプ
- ㉖ CDリピートボタン

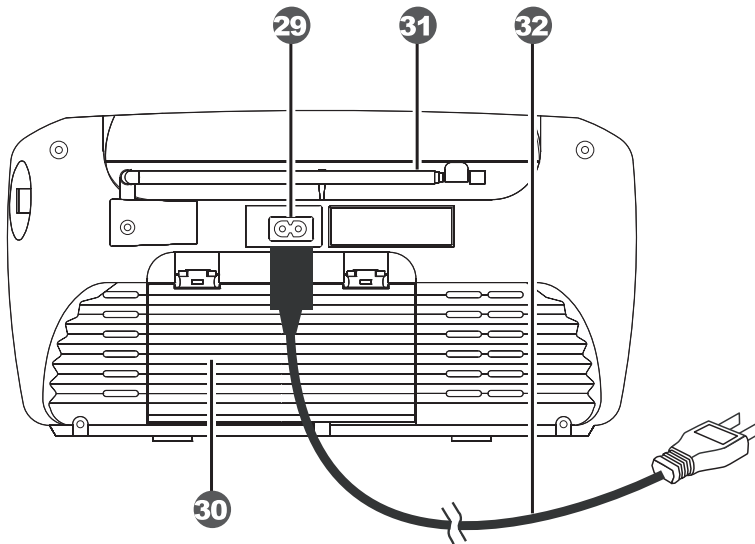
本体側面（左）



本体側面（右）



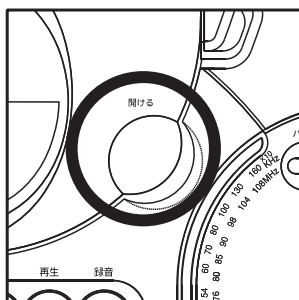
本体背面



- 27 ラジオ選局ダイヤル
- 28 イヤホンジャック
- 29 AC電源ジャック
- 30 電池カバー
- 31 FM用ロッドアンテナ
- 32 電源コード（付属品）

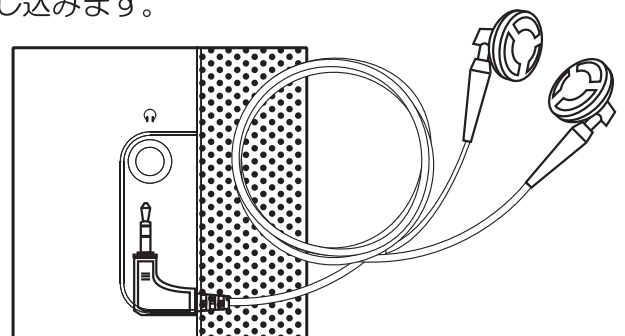
事前の準備

電源を入れる前にCDドアを開けて、CDトレイ上にあるCDメカ保護カードを取り外します。



イヤホンの使用

イヤホン（別売）を使用する場合は、本体左側面のイヤホンジャックにイヤホンのプラグを差し込みます。

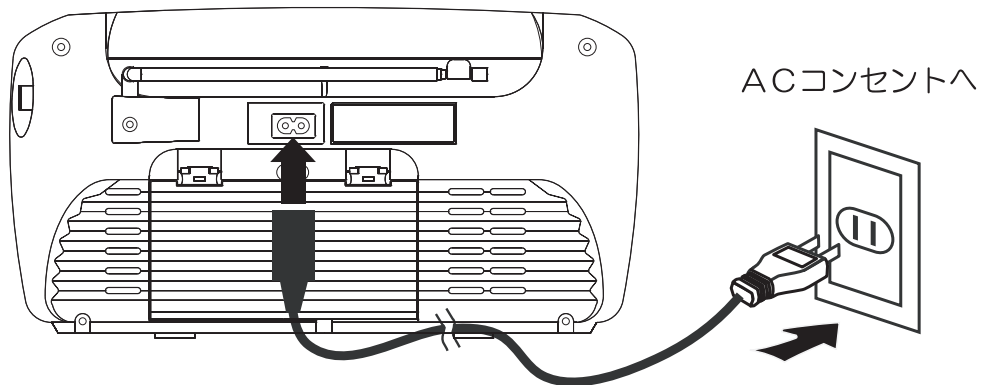


電源について

この製品は、ご家庭のAC100V電源または乾電池のどちらでも使うことができます。

ご家庭のAC100V電源で使う時

- 1 付属の電源コードの機器側接続プラグを、本機背面のAC電源ジャックに強く押し込んで接続します。



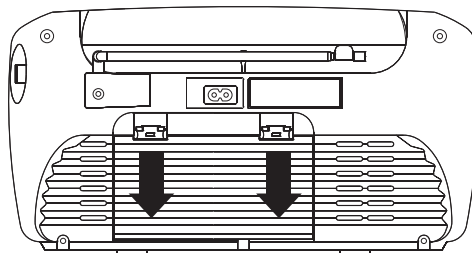
- 2 電源プラグをご家庭のACコンセントに差し込みます。

注意 付属の電源コードは、本機専用です。他の機器で使用しないで下さい。
また他の機器の電源コードを本機に使用しないで下さい。

乾電池で使う時

電池でお使いの場合は、必ず電源コードを本機からはずして下さい。電源コードがさしてあると、切替機能が働いて、電池では動作しません。

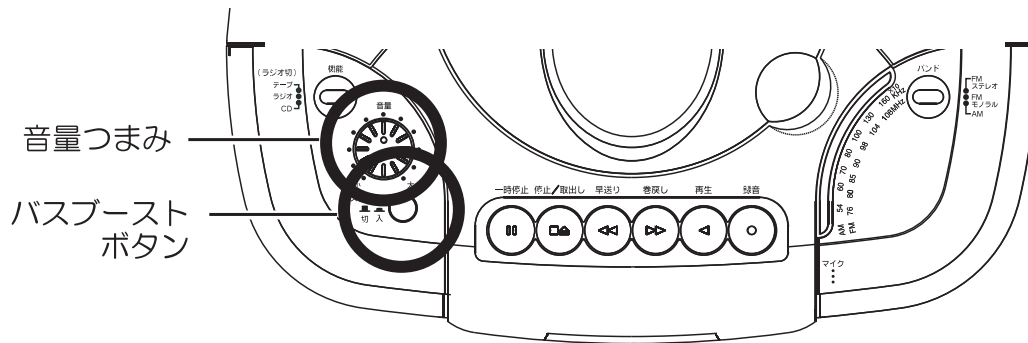
- 1 電池カバーのツメの部分を押しながら、手前に引いてカバーをはずして下さい。



- 2 単2形乾電池8個を電池ケース内の極性表示に従って正しく入れて下さい。スプリングのあるほうが乾電池のマイナス(-)側になります。
- 3 電池カバーを元に戻します。

音量音質を調節するには

- 1 音量は、本体上面左側の音量つまみを回して調節します。
音量つまみを右に回すと音が大きくなり、左に回すと音が小さくなります。
- 2 音質は、バスブーストボタンを押すと、低音域が強調されます。



ラジオを聴く

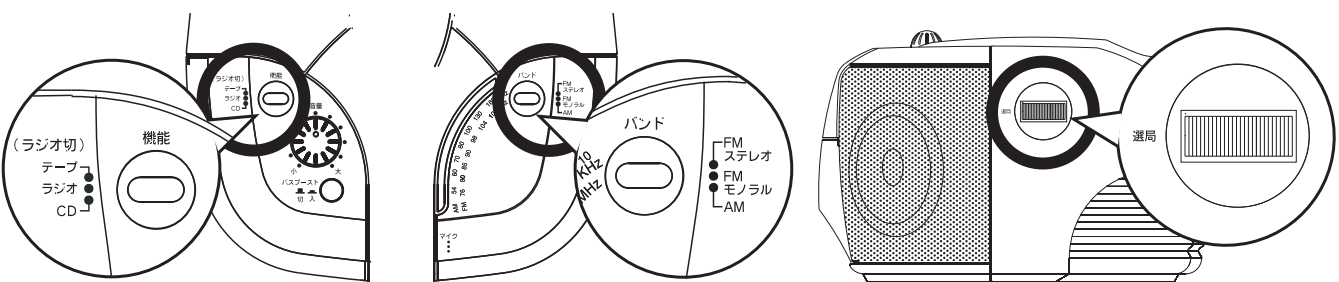
- FMを受信する場合は、ロッドアンテナをいっぱい伸ばし、角度をつけて回転し、最もよく受信できる位置に調整します。
- AMを受信する場合は、ロッドアンテナをたたみ、本体全体の方向を変えて、最もよく受信できる位置に調整します。
- 鉄筋コンクリート建物の内部、鉄筋や金属を使用した建物が建ち並ぶ所、電波送信所から遠い場所では、電波を受信できない場合や雑音が増える場合があります。

- 1 本体上面の機能切替スイッチをスライドさせて、ラジオを選びます。

<機能切替スイッチ>

<バンド切替スイッチ>

<選局ダイヤル>

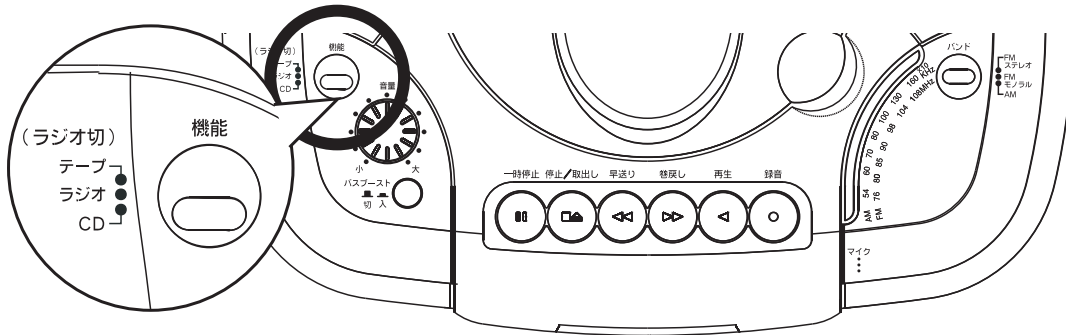


- 2 バンド切替スイッチをお好みにAMかFMモノラルかFMステレオを選びます。
※ FMステレオにしてFMステレオ放送を受信すると、FMステレオランプが点灯します。
※ FMステレオで雑音が多い場合は、FMモノラルにすると雑音が少なくなります。
- 3 選局ダイヤルを回して、お好みの局に合わせて下さい。
- 4 ラジオを消すには、機能切替スイッチをテープ（ラジオ切）に合わせてます。

CDを聴く

■CDを再生する

- 1** 本体上面の機能切替スイッチをスライドさせて、CDを選びます。

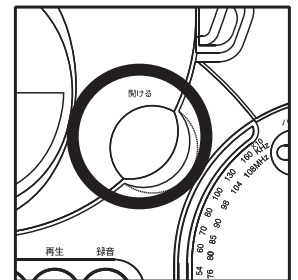
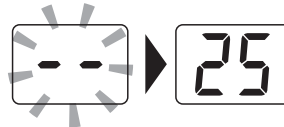


- 2** CDドアの「開ける」部分に指をかけて、CDドアを開けます。

- 3** 音楽CDのレーベル面を上に向けて、CDトレイ上にCDをセットします。ドアを閉じると、CDを読み込んでから、LEDディスプレイにCDの全トラック数を表示します。

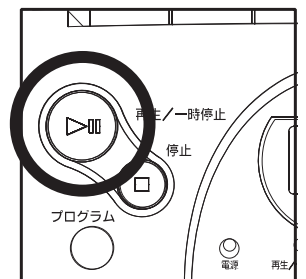
※ 右図のLEDディスプレイは、点灯部分のみを表示。

(例) 全トラック (曲) 数が25の場合



- 4** CDの再生/一時停止ボタンを押します。トラック1の再生が始まります。LEDディスプレイに再生中のトラックナンバー (曲番号) が表示されます。

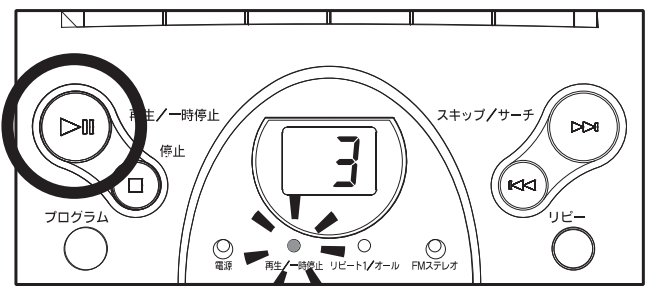
※CD再生中はCDドアを開けないで下さい。故障の原因になります。



■CDを一時停止する

- 1** CDの再生/一時停止ボタンを押します。一時停止中は再生/一時停止ランプが点滅します。もう一度押すと停止したところから再生を再開します。

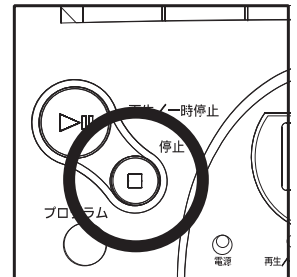
(例) 3曲目再生中に、再生/一時停止ボタンを押した場合



※ 上図のLEDディスプレイは点灯部分のみを表示。以下同様。

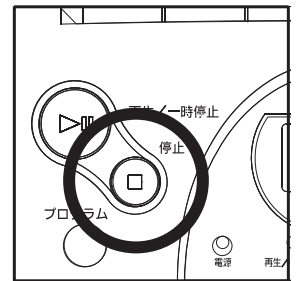
■CDを停止する

- 1 CD停止ボタンを押します。



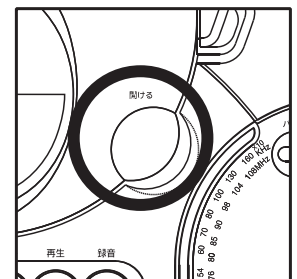
■CDを取り出す

- 1 CDが停止していない時は、CD停止ボタンを押します。



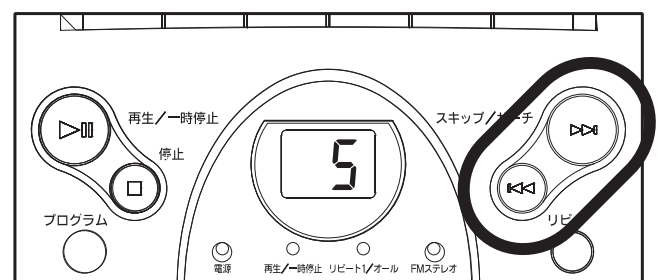
- 2 CDドアの「開ける」部分に指をかけて、CDドアを開けます。

- 3 CDを取り出し、CDドアを閉めます。



■サーチ再生

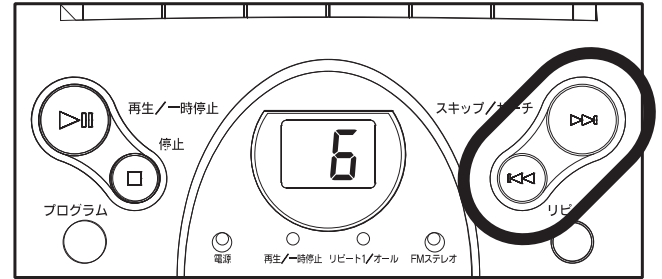
- 1 再生中にスキップ/サーチ (▶▶▶ 又は ◀◀◀) ボタンを押し続け、希望の場所で手を離すと再生が再開されます。▶▶▶ ボタンは早送りを、◀◀◀ ボタンは早戻しします。



(例) 5曲目を再生中の場合

■スキップ再生

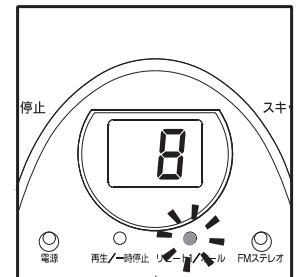
- 再生する前、又は再生中にスキップ/サーチボタンを希望のトラックナンバー（曲番号）が表示されるまで1回ずつ短く押します。再生中に右向きスキップ/サーチ（▶▶）ボタンを押すと次の曲、左向きスキップ/サーチ（◀◀）ボタンを押すと再生中の曲の頭出しができます。左向きスキップ/サーチ（◀◀）ボタンを2回続けて押すと、前の曲から再生します。繰り返し短く押すことにより前の曲に移動します。



（例）6曲目を再生中の場合

■1曲リピート再生

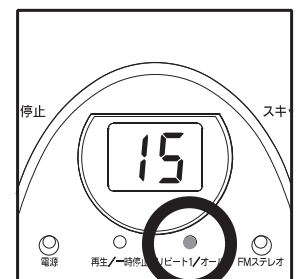
- スキップ/サーチ（▶▶）又は（◀◀）ボタンで希望の曲を選び、再生中にリピートボタンを1度押します。
- リピート1/オールランプが点滅し、現在再生している曲だけを繰り返し再生します。



（例）8曲目を再生中の場合

■全曲リピート再生

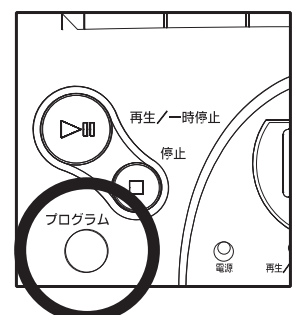
- 再生中にリピートボタンを2度押します。リピート1/オールランプが点灯し全曲繰り返し再生します。リピートボタンを3回押すと、リピート再生を解除し、ランプは消えます。



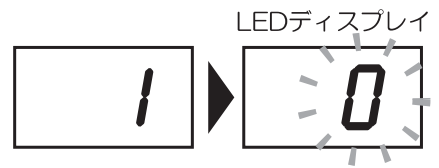
（例）15曲目を再生中の場合

■プログラム再生（お好みの曲順で再生できます）

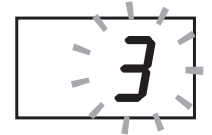
- CD/停止状態でプログラムボタンを押します。



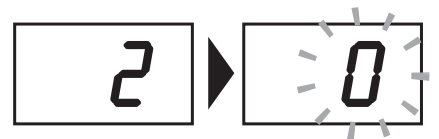
- 2** LEDディスプレイに“1”を表示してから“0”を点滅します。
最初の“1”はプログラム再生の1番目の曲という意味です。
(※ 右図のLEDディスプレイは点灯部分のみを表示。以下同様。)



- 3** 聴きたい曲番号（例：トラック3）がLEDディスプレイに表示されるまでスキップ/サーチ（▶▶）又は（◀◀）ボタンを押してください。



- 4** プログラムボタンを押します。LEDディスプレイに“2”を表示してから“0”を点滅します。これで1曲目がプログラムされました。

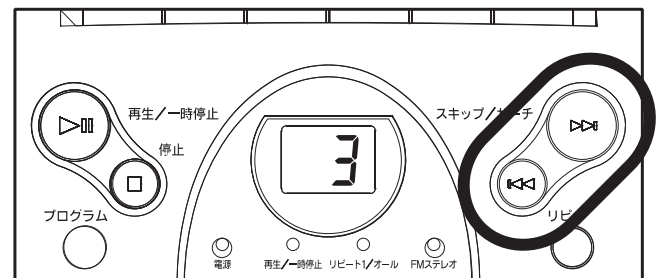


- 5** 3～4の操作を希望の曲がプログラムされるまで、繰り返します。
(最大20曲まで)

- 6** プログラム設定が終わりでしたら、再生/一時停止ボタンを押します。
再生される曲番号が表示されます。プログラム順に再生が始まります。



- 7** 再生中にプログラムされた次の曲を聴きたいときは、右向きスキップ/サーチ（▶▶）を押します。左向きスキップ/サーチ（◀◀）ボタンを1回押すと、再生中の曲の頭出しをします。前のプログラムした曲を聴きたいときは、左向きスキップ/サーチ（◀◀）を2回押します。



- 8** 全てのプログラムした曲が終わると停止しプログラム設定は解除されます。

※ご注意

- プログラム再生の設定は、停止ボタンを押して再生を止めてから設定してください。
- CDドアを開けると、CDプログラム設定は解除されます。
- プログラム設定中に停止ボタンを押すと、CDプログラム設定は解除されます。

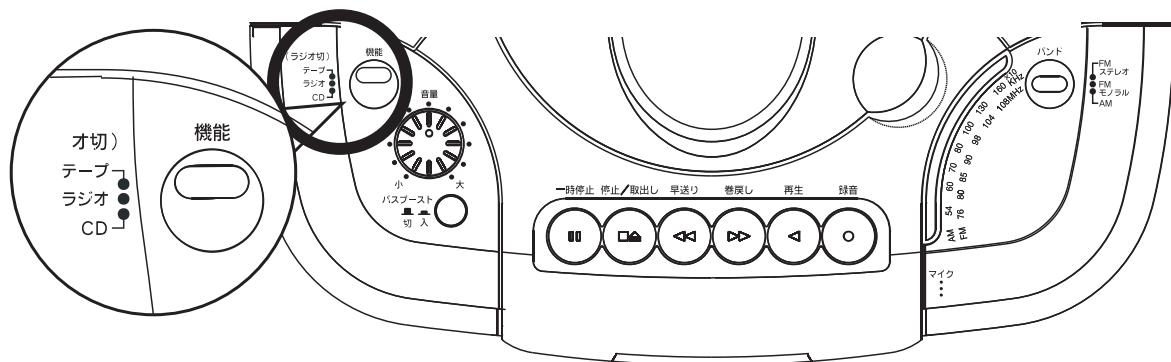
カセットテープを聴く

※ ノーマルテープをご使用下さい。

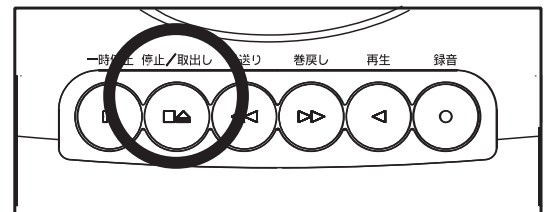
※ カセットテープのリールを鉛筆等で回した時に軽く回らない巻きの固いテープは、故障の原因になりますのでお使いにならないで下さい。

■テープを再生する

1 本体上面の機能切替スイッチをスライドさせて、テープを選びます。

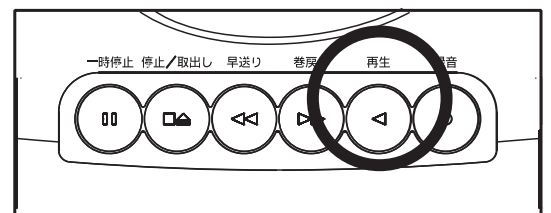


2 停止／取出しボタンを押して、カセットドアを開けます。

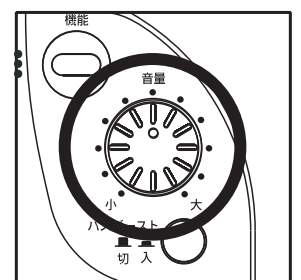


3 カセットのテープが露出している面を上になるようにして、カセットを挿入して下さい。挿入後、カセットドアを閉めて下さい。

4 再生ボタンを押して、再生します。



5 音量は、本体上面の音量つまみを回して調節します。音量つまみを右に回すと音が大きくなり、左に回すと音が小さくなります。

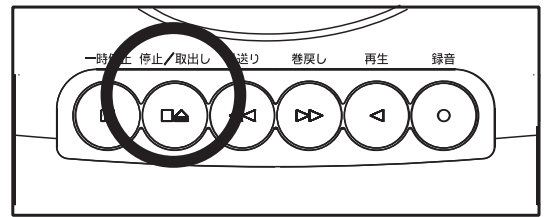


■巻き終わりのテープの自動停止

テープを巻き終わるとオートストップ機構により、再生と録音は自動的にボタンが上がり、自動停止します。

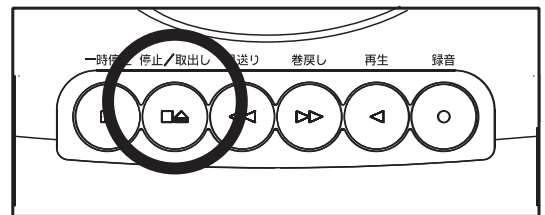
■テープを停止する／テープの取出し

- 1 停止／取出しボタンを押します。
もう一度、停止/取出しボタンを押すとカセットドアが開き、テープを取出すことができます。



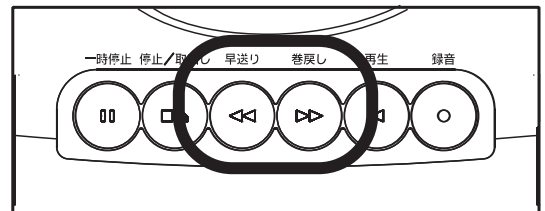
■テープを一時停止する

- 1 テープ再生中に一時停止ボタンを押します。
- 2 再生を再開するときは、もう1度一時停止ボタンを押します。



■早送り／巻戻しをする

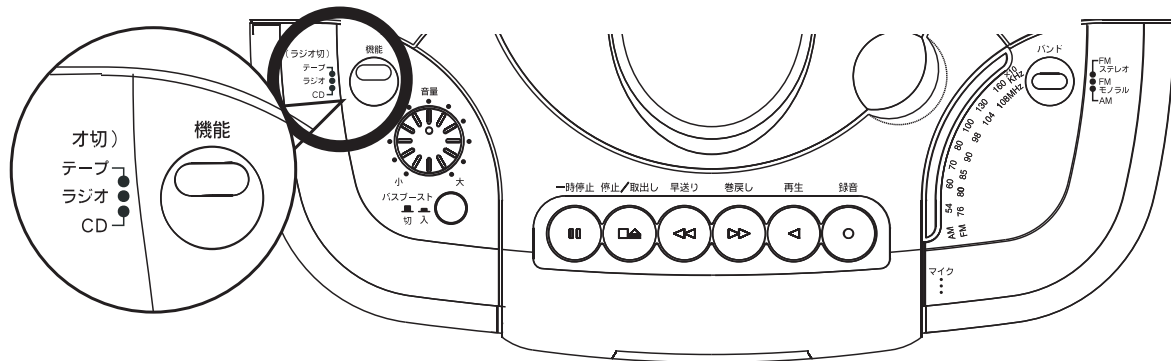
- 1 早送りボタン又は巻戻しボタンを押すと、早送り/巻戻しをします。希望のところで停止/取り出しボタンを押します。



カセットテープに録音する

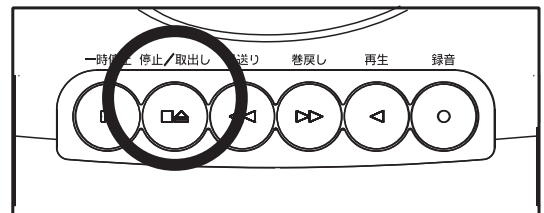
■内蔵マイクで録音する

- 1** 本体上面の機能切替スイッチをスライドさせて、テープを選びます。



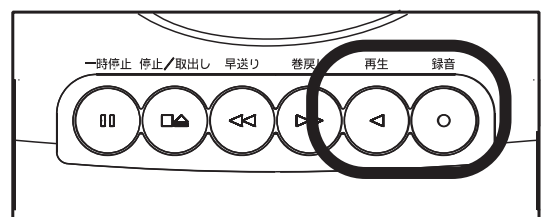
- 2** 停止／取出しボタンを押して、カセットドアを開けます。

- 3** カセットのテープが露出している面を上になるようにして、カセットを挿入して下さい。挿入後、カセットドアを閉めて下さい。



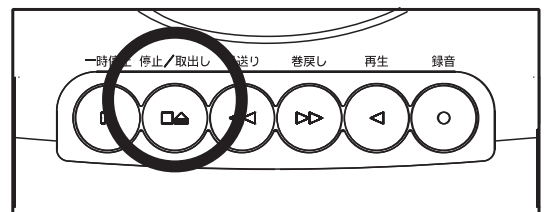
※ カセットテープの巻き始めと巻き終わりのリーダーテープ部分は録音できません。録音前にテープを送っておきます。

- 4** 録音ボタンと再生ボタンを同時に押します。



- 5** 本機に向かって話をするとう内蔵マイクを通して録音され、テープの端まで行くと自動的に停止します。

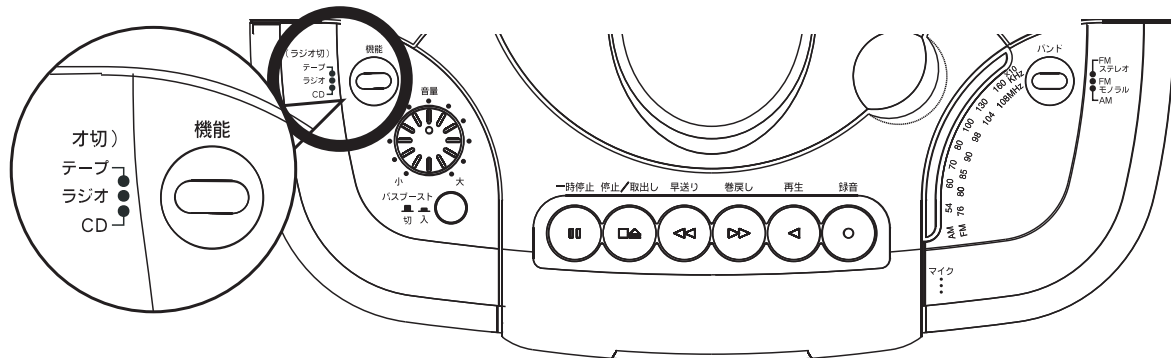
- 6** 途中で止めたい時は、停止／取出しボタンを押します。一時停止したい時は、一時停止ボタンを押します。もう一度押すと、録音を再開します。



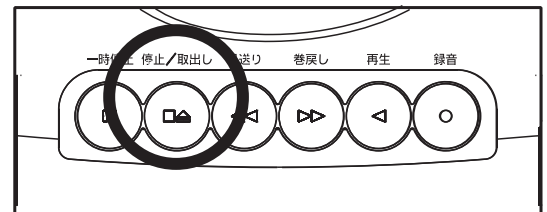
- 7** 録音した内容を聴く時には、巻戻しボタンを押し、聴きたいところまで戻ったら再生ボタンを押します。

■本機のラジオから録音する

- 1** 本体上面の機能切替スイッチをスライドさせて、ラジオを選びます。



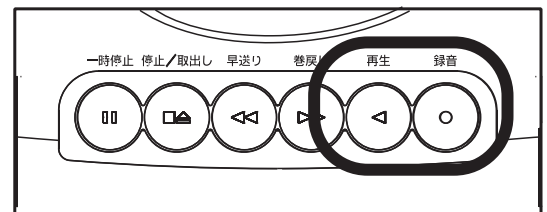
- 2** 停止／取り出しボタンを押して、カセットドアを開けます。



- 3** カセットのテープが露出している面を上になるようにして、カセットを挿入して下さい。挿入後、カセットドアを閉めて下さい。

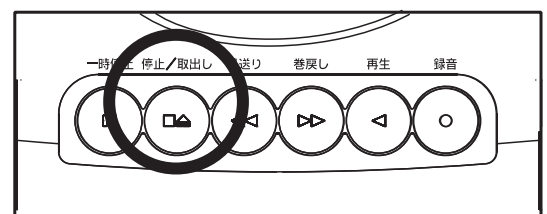
- 4** 9ページの「ラジオを聴く」の手順で録音したい放送局に合わせます。

- 5** 録音ボタンと再生ボタンを同時に押すと、録音がスタートします。
※ 録音の音量は自動的に調節されて録音されます。



- 6** テープの端まで行くと自動的に停止します。

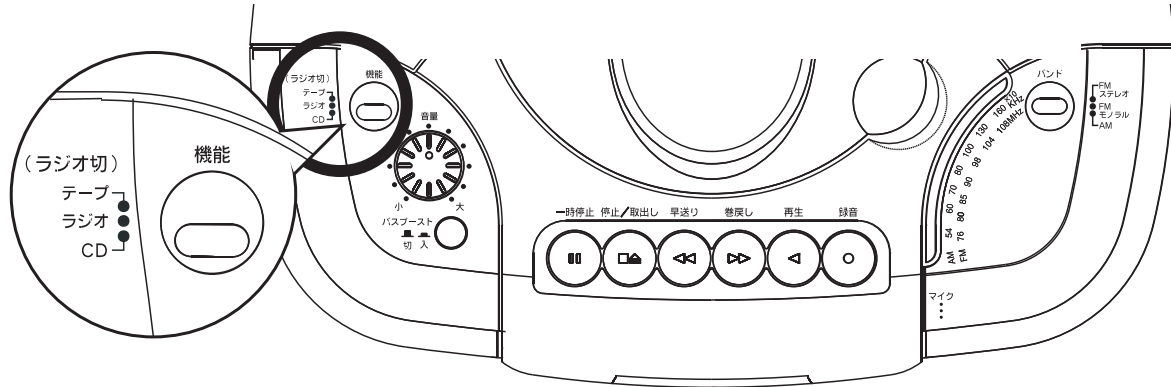
- 7** 途中で録音を止めたい時は、停止／取り出しボタンを押します。一時停止したい時は、一時停止ボタンを押します。もう一度押すと、録音を再開します。



- 8** 録音した内容を聴きたいときは、機能切替スイッチをテープ（ラジオ切）にします。巻戻しボタンを押して、聴きたいところまで戻ったら再生ボタンを押します。音量つまみでお好みの設定にします。

■CDから録音する

- 1** 本体上面の機能切替スイッチをスライドさせて、CDを選びます。



- 2** CDドアの「開ける」部分に指をかけて、CDドアを開けます。

- 3** 音楽CDのレーベル面を上に向けて、CDトレイ上にCDをセットします。ドアを閉じると、CDを読み込んでから、LEDディスプレイにCDの全トラック数を表示します。

- 4** カセットの停止／取り出しボタンを押し、カセットテープを挿入します。

- 5** カセットの一時停止ボタンを押します。

- 6** カセットの録音ボタンと再生ボタンを同時に押します。

- 7** CDの再生／一時停止ボタンを押します。
トラック1の演奏が始まります。

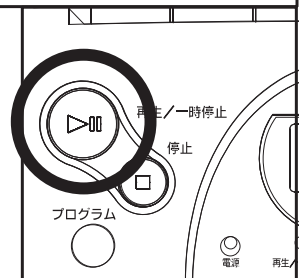
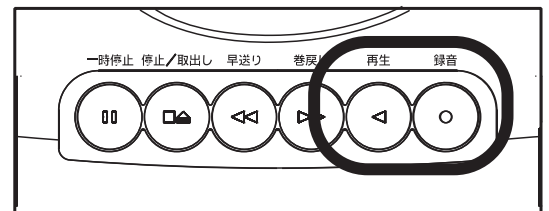
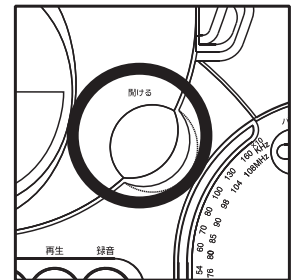
- 8** スキップ／サーチボタンで録音したい曲に移動します。

- 9** 録音したいところでカセットレコーダーの一時停止ボタンを押します。録音がスタートします。途中で録音したくない曲は、一時停止ボタンを押します。

※ 録音の音量は自動的に調節されて録音されます。

- 10** テープエンドまで行くと自動的に停止し、録音ボタンと再生ボタンが元に戻ります。途中で停止したい場合は、停止／取出しボタンを押します。

- 11** 録音した内容を聴きたいときは、機能切替スイッチをテープ（ラジオ切）にします。巻戻しボタンを押して、聴きたいところまで戻ったら再生ボタンを押します。音量つまみでお好みの音量に設定にします。




故障かなと思ったら

本製品に問題が発生した場合は、下記のことをチェックしてください。

症 状	原 因	対 処 法
電源が入らない。	ACコードが本体の後部ソケットに奥まで挿し込まれていない。	ACコードをソケットに奥まで挿し込んでください。
ラジオの音が聞き取りづらい。	音量つまみが小さく設定されている。	音量つまみを調整してください。
	AMの受信状態が悪い。	本体の向きを変えてください。
	FMの受信状態が悪い。	FMアンテナを伸ばし、向きを変えてください。
	FMステレオの受信状態が悪い。	FMモノラルに切り替えてください。
CDが動作しない。	CDが逆さまに入られている。	ラベルを上にして入れなおしてください。
	レンズが汚れている。	柔らかい布で軽く拭くかレンズクリーナーを使ってレンズのクリーニングを行ってください。
	機能切替スイッチがCDにセットされていない。	機能切替スイッチをCDにセットしてください。
	一時停止状態になっている。	再生/一時停止ボタンを押し再生してください。
CDが曲の途中でスキップしたり、再生しない。	CDが汚れている。	柔らかい布で拭くかディスククリーナーを使って、汚れを拭き取ってください。
	レンズが汚れている。	柔らかい布で軽く拭くかレンズクリーナーを使って、汚れを拭き取ってください。
テープの音がかすれたり、高音が出なくなる。	テープヘッドが汚れている。	綿棒にアルコールを付けて、テープヘッドを清掃する。
	テープが伸びたり、ワカメ状になっている。	テープを交換する。
テープの音が震える。	キャプスタン、ピンチローラーが汚れている。	キャプスタン、ピンチローラーを清掃する。
	テープに巻取りムラがある。	テープの端から端まで通して早送り、巻戻し、または再生をして巻き直す。
テープの再生ボタンを押しても音が出ない。	機能切替スイッチがテープにセットされていない。	テープに切り替える。
録音ボタンが押せない。	カセットテープの誤消去防止ツメが折られている。	ツメの折れていないテープを使う。またはツメの穴をふさぐ。

アフターサービスについて

- ① この製品は保証書がついております。お買い上げの際に、販売店より必ず保証欄の「お買い上げ年月日」と「販売店印」の記入をお受けください。
- ② 保証期間はお買い上げ日より一年です。詳細は保証書をご覧ください。
- ③ アフターサービスについてご不明な場合は、本書に記載のお買い上げの販売店かキュリオムサポートセンターにお問い合わせください。

キュリオムサポートセンター：  **0570-00-9106**

受付時間：月～金 午前10時～午後5時30分（土・日・祝祭日・年末年始を除く）

※ナビダイヤルは一部の電話ではご利用になれない場合がございます。

メールでのお問い合わせ：E-mail：support@qriom.com

ホームページ：http://www.qriom.com

お手入れの仕方

<本体の清掃>

汚れは、ぬるま湯か台所用中性洗剤に浸した柔らかい布をかたくしぼって拭き、さらに乾いた布で洗剤が残らないようにお手入れをしてください。

お 願 い	
<p>● お手入れにはシンナー・ベンジン・みがき粉・化学そうきんなどは使用しないでください。破損・変質の原因となります。</p>	<p>● 本体のまる洗いはしないでください。故障の原因となります。</p>



個人情報のお取り扱いについて

- 株式会社 山善及びその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また個人情報を適切に管理し、修理義務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者には提供しません。

ご注意

- 本機を運用した結果のいかなる影響についても、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 本取扱説明書は株式会社山善が著作権を保有します。
- 株式会社山善の著作物の一部または全部を無断で複製、転写、転載、改変することを禁止します。
- 一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。
- 本機および本取扱説明書などは、改良のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本書は日本国内でのみ使用されることを前提として開発・製造されています。
- 本機を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
- また、弊社は本機に関して日本国外での技術サポート、アフターサービスなどを行っておりませんので、あらかじめご了承ください。

本書の内容につきましては、万全を期しましたが、ご不明な点や誤りなどございましたら、販売店もしくは弊社にご連絡ください。

また、上記に関わらず、以下の事項につきましては弊社は一切の責任を負いかねます。

- ① 弊社の責任によらない製品の損傷、破損、または改造による故障や不具合
- ② 本機をお使いになって生じたデータの消失または破損
- ③ 本機のために費やした時間、経費
- ④ 本機に付随する、または運用の結果もたらされた損害
- ⑤ 本機によりもたらされるべき、直接的、間接的な効果および利益の損失
- ⑥ 本機をご使用になって生じたいかなる結果および、直接的、間接的なシステム、機器およびその他の異常

また、本書に乱丁、落丁があった場合にはお取り替えいたしますので、弊社までご連絡ください。

<著作権について>

市販の音楽CDなどを権利者の承諾なしに複製することは、個人で楽しむ以外は著作権法により禁止されています。個人で楽しむ目的であっても、作成した音楽データを権利者の承諾なしに第三者に配布することはできません。個人で楽しむ目的で録音した音楽データを、権利者の承諾なしに故意にインターネット上で配布することは、著作権の「公衆送信権」「送信可能化権」に抵触し、行った場合は法律による処罰の対象になります。

主な仕様

CDラジオカセットレコーダー YCD-C991

ラジオ部	受信周波数帯域	FM/FMステレオ：76～108MHz AM：535～1605KHz
CDプレーヤー部	対応ディスク	音楽CD、CD-R/RW（CD-DAフォーマットのみ）
	CD再生機能	プログラム再生、リピート（1曲/全曲）再生
	ピックアップ	半導体レーザー
	ワウ・フラッター	測定限界以下
カセット部	トラック方式	4トラック2チャンネル ステレオ
	録音方式	DCバイアス
共通部	実用最大出力	1.2W+1.2W
	出力端子	イヤホン出力端子（3.5mmステレオミニジャック）
	乾電池持続時間 （アルカリ乾電池、目安）	CD：約12時間、カセット：約23時間、 ラジオ：約30時間
	電源	AC 100V 50/60Hzまたは、 DC 12V 単2形乾電池8本（別売）
	消費電力	13W
	外形寸法	幅287mm×奥行249mm×高さ151mm
	質量	約2.4kg
	付属品	取扱説明書（保証書付）、電源コード

- CD-R/RWは、ディスクの品質、記録状態、傷や汚れによっては正常に再生されない場合があります。全てのディスクの再生を保証するものではありません。
- 90分（C90）以上の長時間テープは、テープが薄いため、小刻みな走行、停止、早送り、巻戻しを繰り返さないでください。回転部に巻き込まれることがあります。
- 電源コードは、付属のもの以外使用しないで下さい。
- 製品の設計および仕様は予告なく変更される場合があります。